

「今月の主な紙面」

- 2. 私のふるさと自慢(中津川、浜松)、わんにゃんこ、お気に入り
- 3. 経済的事由による手遅れ死亡事例 記者発表、甲状腺エコー検診
- 4. 研修医日記、相談室、パズル



愛知県民主医療機関連合会

〒456-0006 名古屋市中熱田区沢下町9番3号
 ☎ 052-883-6997 FAX 052-889-2112
 発行責任者 武田 修三
 URL: http://www.aichiminiren.jp/
 E-mail: aichiminiren@aichiminiren.jp

第493号

「住み慣れた家で療養を続けたい」願いを叶えるために 無差別平等の地域包括ケアめざす取り組みを学ぶ

愛知民医連 2025年度医療活動学習交流会ひらく



大森先生の講演「機能強化型在宅支援診療所である名南診療所の取り組み」

大森先生の講演では、在宅療養支援の制度開始とともに始まった名南診療所での20年間の取り組みを報告して頂きました。

「住み慣れた家で療養を続けたい」という願いを叶えるために、名南診療所は、2006年4月に在宅療養支援診療所からスタートし、2012年4月に機能強化型在宅療養支援診療所に認定され、近年では「かんわケア」「えんげ」「ん」へのサポートが出来るようになっている事など、大森先生は、在宅・地域包括ケアのキーワードとして「3「ん」と示されました。

「かんわケア」「えんげ」「ん」へのサポートが出来るようになっている事など、大森先生は、在宅・地域包括ケアのキーワードとして「3「ん」と示されました。



名南診療所・大森先生



よってって在宅診療所からの活動報告



はみんぐ歯科からの報告

6月14日、愛知民医連医療活動委員会の主催で、2025年度医療活動学習交流会が金山・労働会館本館にて開催されました。今回は、リモート配信はなく、昨年の4法人46人を大きく上回る、7法人・県連事務局、医学生ら71名のみならず会場に参集されました。

2020年から2040年にかけて、85歳以上の在宅医療需要が62%増加することが見込まれています。こうした状況ふまえて、今回の学習交流会では「在宅医療の取り組みについて」をテーマに、大森久紀先生(医療法人名南会理事長、名南診療所所長)に講演をして頂きました。

在宅緩和ケア充実診療所としても認定されたそうである地域連携として、法人外の病院・在宅介護事業所・訪問看護ステーションなど数多くの法人外事業所と積極的に連携しながら拡大し、訪問先のエリアを南区から瑞穂区まで拡大してきました。

ただ、残念なことに法人内の連携が弱く、名南会ブランドとして十分に生かされていないのではないかという思いもあつたようです。

無差別平等の地域包括ケアをめざして

名南会が目指す無差別平等の地域包括ケアとは、その人が「最もふさわしい場所」で「最もふさわしい医療サービス」を受けることを名南会ブランドとして表現していました。名南会法人内の連携が必要な療養の場を提供することができ、またひとりの患者さんを時間的・空間的(施設)枠を超えて法人内の多職種連携でサポートしていきけるという強みがあるということでした。

6法人の在宅医療の活動報告から学ぶ

続いて6法人から演題が発表されました。

- 訪問診療 南医療生協 「よってって在宅診療所の紹介」
- 訪問看護 みなと医療生協 「みなと医療生協訪問看護ステーションの現状と課題」
- 訪問介護 名南会 「訪問介護の現状・取り組みと今後について」
- 訪問歯科診療 はみんぐ歯科 「訪問歯科診療の取り組み」

取り組み

- 訪問薬剤管理 ファルマネットのみなみ「在宅医療(薬剤師)の取り組みについて」
- 訪問リハビリ 尾張健友会「老健ちあき訪問リハビリセンターについて」

尾張

☆6月22日に、医療法人尾張健友会の定期社員総会を開催。職員からも無料低額診療事業の取り組み等を報告。提案された議案は全て可決されました。

☆総会後は千秋病院40周年記念レセプションを開催。建設当初に奮闘された方々が挨拶し、懐かしい話に大いに盛り上がりました。

ファルマネット

☆南区平和行進には、昨夏から一緒に働いている若手職員2名の自発的参加があり総勢8名で歩きました。若い人の自発的参加は心強い限りです。

☆月一回の相談サロンでは、猛暑の季節に合わせて、熱中症と水分補給というテーマで「経口補水液」づくりのコンテンツを紹介。

北

☆7月1日より1か月サマー増資月間を開催中です。味鏡ブロック、もりやまブロックでは組合員と協同の統一行動を、その他の地域でも訪問行動がおこなわれました。出資金だけでなく、困りごとなども寄せられました。対話をする中で温かい声に職員・組合員共に元気をもらいました。

はみんぐ

☆6月30日、第3回「ケアの倫理カフェ」を開催。「ケアをケアする体制が必要」「介護職員の賃上げが必要」「選挙に行こうと思った」など意見交流。

☆原水禁世界大会に2名の代表派遣が決定。ランチ会などのカンパ活動や千羽鶴づくりを行っています。また、ピースあいちの訪問学習も予定しています。



フロアからの質問・交流も活発でした



みなと

☆6月11日、レインボーセンターで、約120人が参加し、原水禁世界大会の成功と、ウクライナ&パレスチナ・ガザ自治区への人道支援を目的とした音楽会『平和の夕べ』を開催。

☆6月22日に、医療法人尾張健友会の定期社員総会を開催。職員からも無料低額診療事業の取り組み等を報告。提案された議案は全て可決されました。

私のふるさと自慢

「私のふるさと自慢」は、愛知民医連職員からふるさとの見どころやご当地グルメを紹介していただき、ふるさと愛を披歴していただく夏の定番企画です。

今年は、はみんぐ歯科の今井絵理さん、北医療生活協同組合本部の倉田真與さんにご自慢のふるさとを紹介していただきました。



家康公ゆかりの浜松城



エアフェスタ浜松でのブルーインパルスの演技

松本市は、歴史・文化・自然・食の魅力が詰まった街です。徳川家康公が築城した浜松城は、出世城の名でも知られ家康公ゆかりの地として歴史好きにはたまらないスポットです。大河ドラマ「どうする家康」の舞台にもなりました。また、浜松市は航空自衛隊の基地があり、毎年秋に「エアフェスタ浜松」が開催されます。中でもブルーインパルスのアクロバット飛行がとても迫力があり人気で、大空を舞いながら星やハートなどを描いてくれます。私は実家からよくショーを見ていて、毎年楽しみにしていました。子どもから大人まで楽しめますし、飛行機や航空に興味のある方は一度訪れてほしいイベントです。名古屋から比較的近いので、ぜひ訪れてみてください！



脂ののって香ばしくてふっくらうなぎ

北医療生活協同組合・組織担当課 倉田 真與

静岡県 浜松市編

歴史・文化・自然・食の魅力

古屋市に暮らしていますが、地元に帰るたびに自然いっぱいでほっとする落ち着く場所だと思います。みなさんも癒される旅はどうでしょうか？ようこそ中津川市へ！

浜松市には歴史にゆかりのある場所や美味しい食べ物がたくさん魅力に溢れた街です。名古屋から比較的近いので、ぜひ訪れてみてください！



散歩中に撮影した阿木の風景（初夏）



中津川の五平餅はお団子型です

私の生まれたまち岐阜県中津川市は、秋には栗きんとんめぐり、夏には付知峡や根の上高原で自然浴、そして歴史情緒あふれる馬籠宿の散策、鮎釣り、キャンプ、夜空を見上げる星がきれい、食べ物などなど四季折々の魅力が詰まっています。現在有名

はみんぐ歯科・歯科衛生士 今井 絵理

岐阜県 中津川市編

四季折々の魅力あふれる故郷



東白川でとれた鮭。BBQで塩焼きに！



散歩中に撮影した阿木の風景（秋）



左からマロン、キキ。ツムくんの写真はまたの機会に



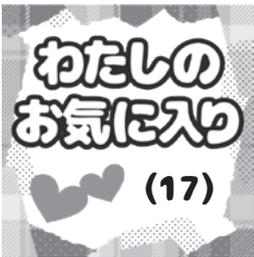
我が家にはチワワのキキ（11歳）と、ポメラニアンのマロン（3歳）、シユナウザーのツム（7ヶ月）の3匹の犬がいます。キキは穏やかで落ち着いた性格。そんなキキのそばにいたくて、まだまだ遊びたい盛りのマロンとツムは、いつも寄り添って「かまって」と言いたげにしています。キキはそんなマロンとツムと少し距離をとりつつも、ちゃんと見守っているお姉さんの存在です。静かで優しい時間を家族と一緒に過ごせることが、何よりの幸せです。

総合病院南生協病院 病理診断科 井島 佑裕

犬の名前・種類・年齢

- キキ・チワワ・11歳
- マロン・ポメラニアン・3歳
- ツム・シユナウザー・7ヶ月

静かで優しい時間を一緒に過ごせることが幸せ



夏といえば「かき氷」

我が家では、夏といえば「かき氷」です。子どもが小学生になった頃に電動のかき氷機を購入したのですが、とある事情によりかき氷が自宅で作れず今年ようやく目の

あびました。子ども達は、レインボーかき氷が大好きで、シロップを順番にかけて楽しんでいました。私のおすすめはあんこ白玉を入れ抹茶シロップをかける食べ方です。おかげ横丁にある赤福氷のようになります。ぜひお試しください。そんな感じで、家族で「頭の痛さ」に笑いあいながら食べるかき氷が今一番のお気に入りです。



わかば薬局 大高店 成田 香織

病气やけがで 働けなくなっても、 誰もが医療に アクセスできるように

2024年経済的事由による 手遅れ死亡事例調査

6月24日、愛知民医連が「2024年経済的事由による手遅れ死亡事例調査」について記者会見を行いました。
県内で寄せられた2事例について報告し、全日本民医連の調査結果も踏まえて、命を守るために必要と思われる改善策について提言しました。



中断し手遅れとなった事例」がそれぞれ報告されました。労働者派遣法の改正や無料低額診療事業についても触れられながら、「誰もが安心して受診できる社会にならなければならない」と訴えました。

**男性が85%を占め
社会的孤立が深刻**

愛知民医連の武田事務局長からは、全日本民医連の調査結果から見える特徴と改善策について報告しました。

冒頭で愛知民医連の堀井会長が挨拶し、「亡くなられた方が全国で48名という数字は水山の一角で、経済的困窮のために医療が受けられない方が多いのが現実です」と指摘しました。

事例報告では、名南病院のMSW・外山早紀さんから「無保険により受診が遅れた事例」と、千秋病院のMSW・佐藤和栄さんから「医療費の不安から治療を

いのちを優先する
社会保障制度への転換を
要望として、保険料や医療

SDHの視点で 避難者への長期的な支援を

甲状腺エコー無料検診を千秋病院で実施



早川医師の診察の様子

県連被ばく対策委員
千秋病院 診療放射線技師
森 賢洋

第15回目となる
福島第一原発事故避難者の
甲状腺エコー検診

第15回目となる福島第一原発事故被災者の甲状腺エコー検診と交流相談会を開催し、12世帯22名の参加がありました。この検診は民医連として東日本大震災に伴う、福島第一原発事故による愛知県へ避難された被災者の心と体の健康を守り全人的に寄り添うことを目的とし、原発事故問題を風化させないために2012年より愛知民医連各院所が関わり取り組んできました。甲状腺エコー検診は愛知民医連スタッフ15名(当院7名)で行いました。交流相談会では吉岡モモ先生のSDHの講演や臨床心理士、弁護士などの専門家が生活相談や訴訟(ADR)等の

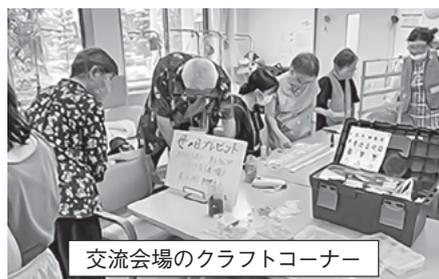


甲状腺エコー検査の様子

学生やボランティアスタッフが参加された方々に寄り添って話を聞いたりアクセサリー製作などをして楽しみました。長期にわたり避難生活をされている方々にとっては、同じ避難者との貴重な交流の場にもなっています。



吉岡医師のミニ学習会



交流会場のクラフトコーナー

避難者の孤独や精神的不安、経済的困窮による不調への支援が必要
参加者は千秋病院の開催時では福島から尾張地域に避難された方の参加が多く見られますが、年に二度の機会のため三河地方から参加した世帯の方も見えました。甲状腺エコーの結果は正常範囲とされるA1判定が3名、A2判定が15名、精密検査を勧めるB判定が4名でした。直ちに精密検査が必要とされるC判定はいませんでした。
甲状腺エコーの検査をされる方はすでに何回か検査をしていて経過を見ている方たちがほとんどです。現



在被ばくを原因とした新たな甲状腺疾患は検査をしていない上ではほとんどありません。しかし避難者の生活状況は様々で避難による孤独、精神的不安、貧困により不調を訴える方はあとを絶えず、SDH(健康の社会的決定要因)の視点で長期的な支援が必要です。

経済的困窮 受診遅れ
県内2人が昨年死亡
愛知民医連調査「無料低額診療拡充訴え」
県民主医会機関連合会(以下「機関連合会」)は24日、経済的困窮による受診遅れや死亡事例の調査結果を発表し、2024年に県内2人が死亡したと報告した。調査対象は、無料低額診療事業の拡充を呼びかけた。調査は、愛知民医連24年加盟する病院や診療所、クリニックなど17施設で行った。このうち、60代男性18人にC型肺炎と診断されたが、仕事先で倒れて治療を受けられなかった。60代男性18人にC型肺炎と診断されたが、仕事先で倒れて治療を受けられなかった。

受診遅れ 昨年2人死亡
経済的理由で無保険など
愛知民医連機関連合会(以下「機関連合会」)は24日、経済的困窮による受診遅れや死亡事例の調査結果を発表し、2024年に県内2人が死亡したと報告した。調査対象は、無料低額診療事業の拡充を呼びかけた。調査は、愛知民医連24年加盟する病院や診療所、クリニックなど17施設で行った。このうち、60代男性18人にC型肺炎と診断されたが、仕事先で倒れて治療を受けられなかった。60代男性18人にC型肺炎と診断されたが、仕事先で倒れて治療を受けられなかった。

上・中日新聞
左・読売新聞

第55回学術運動交流集会のご案内

今年は名古屋駅近くの「TKP プレミアム名駅西」と「TKP プレミアム新幹線口」を会場に開催します。

- 日時：2025年11月23日(祝・日) 9時30分受け付け開始
午前10時開会 午後3時半頃終了予定
- 会場：全体会(午前) TKP プレミアム名駅西
分科会(午後) TKP プレミアム名駅西・TKP プレミアム新幹線口

(午前) 記念講演
「日本被団協ノーベル平和賞受賞と
私たちの草の根の平和活動」(仮題)
金本 弘 氏(日本被団協代表理事)
大村 義則氏(日本被団協2世委員会
副会長)



金本さん 大村さん

(午後) 分科会

【分科会の演題募集】(詳細は募集要項参照)

- 「医療・介護活動の2つの柱」に沿った豊かな学術・運動の取組みが共有できる演題を募集します。
- 分科会構成を検討するため、演題カテゴリを1つ選択して、愛知民医連ホームページより申し込んでください。
- 申込期間は8月29日(金)~9月30日(火) 24:00まで(厳守)
- 演題発表はパワーポイント使用で行って下さい。(事前に法人担当者にデータ提出)

四コマ漫画の描き手 大募集!

愛知民医連新聞の紙面には、いつも四コマ漫画がありました。残念ながら描き手が不在のため現在休載中です。そこで描き手を大募集です。題材は、県連事務局に届いた「読者のひろば」の投稿を使っただけです。謝礼は漫画1点につき図書カード千円です。「我こそは!」という方は、県連事務局・島崎まで。ご連絡お待ちしております!

